おはなしひろば

2022 年 6.7 月号

鹿沼図書館粟野館　ＴＥＬ85－2259
まざあぐうす　編集・発行



もうすぐ梅雨時！雨の日は、室内でテレビやゲームではなく、じっくり本を読んでみませんか！
あなたの知らないわくわくドキドキの世界を本で旅することもできますよ。
ぜひステキな本と出会いに、図書館に遊びに来てね。

６月～７月の予定

＊＊＊土曜日の午前１０：３０～　　楽しい手遊びや工作もあります。＊＊＊

月　/　日	絵　　本	紙　芝　居
6 月　4　日	おねえちゃんったらもう！	あめあがりのさんぽ
6 月　11　日	あめこんこん	ホタルくんとカエルちゃん
6 月　18　日	かばくんとおとうさん	トンボになったヤン
6　月　25　日	オレ・ダレ	かたつむりのツムツム
7　月　2　日	ハンダのびっくりプレゼント	キラキラぼしのたなばた
7　月　9　日	おふろのうみ	おむすびくん
7 月　16　日	あついあついひ	あぶらぜみのあぶちゃん
7 月　23　日	人形劇『王さまと魔法のこな』　（要申込）	
7 月　30　日	ボートにのって	びっくりたまごはだれのもの？

夏休み人形劇



７月２３日（土）11:00～12:00

２階視聴覚室にて（定員 20 名）

① 新作人形劇
「王さまと魔法のこな」

② パネルシアター
「とっつくひっつく」

※申込受付は 7/1～7/14 で直接か電話にてお申し込みください。

※おともだちを誘って遊びに来てね！親子でどうぞ！



おすすめしますステキな絵本

絵本で
いやされて！

テクノロジー化、コロナ禍で生身の接触が激減した今こそ、他者への思いやりの心を育む絵本が必要と言われています。また、現代のネット社会では「匿名で発信する快感を覚えた人たちが多くなり、モラル意識が低くなった」とも言われています。大人こそ人生経験に重ねつつ、じっくり読むと深い味わいがありますよ！

コロナ禍の今こそ、絵本で癒やされて！



『フォックスさんのにわ』
ブライアン・リーズ/作
せなあいこ/訳　評論社
フォックスさん（キツネ）が、仲良く一緒に住んでいた犬とある事情から離れ離れになってしまいます。そのことで自暴自棄になったフォックスさんが、もとの自分、生活を取り戻していくというお話です。
フォックスさんの気持ちの変化が、美しい絵とともに描かれています。微妙な心境の変化は、人生経験のある大人には刺さること間違いありません。2019 年コールデコット賞オナーブック受賞作。



『いいからいいから』
長谷川義史/作　絵本館
「いいから　いいから」なんて気持ちのよいことば。こころがほぐれていきま～す。
「いいから　いいから」このおじいちゃんのおおらかさ。肩のちからがぬけていきま～す。ゆたかな笑顔が生まれる一冊！
これが長谷川義史の絵本の醍醐味です。もちろん、お約束のかくし味も各所にあります。



『あさになったので　まどをあけますよ』
荒井良二/作　偕成社
新しい１日をむかえるために窓をあける子どもたち。なにげない日々の繰り返し、その中にこそある生きることの喜びを描いた絵本。登場する景色には、すべてに明るい朝の陽ざしがふりそそぎ、とても清々しく、読む人の心をまっさらにしてくれます。



『しあわせなふくろう』
ホイテーマ/作　大塚勇三/訳　福音館書店
チェレスチーノ・ピャッチ/絵
百姓家で飼われている鳥たちは、毎日食べたり飲んだりしては、けんかをしていました。
ところがあるとき、近くにある崩れかかった石壁の中で、とても幸せそうに暮らすふくろう夫婦をみて、その秘訣を聞きに行きます。
夫婦は、季節とともに移り変わる自然の営みを眺め、それに合わせて生きることが、幸せで安らかな気持ちになる秘訣だと説きますが、鳥たちには信じられません。オランダの民話に、骨太で美しい絵がついた絵本です。



『あめふりさんぽ』
えがらしみちこ/作
講談社
雨の日のおでかけ。かえるさんやあじさいさんと出会った女の子は……。楽しげな雨音とともに繰り広げられる雨の日が楽しくなる絵本。



『まほうのかさ』
小沢　正/文　教育画劇
はたこうしろう/絵
運動がとても苦手ないちろう。いつも大嫌いな『体育』の時間は雨にならないかなあ……と空を見上げて念じていました。けれど、願った通りにお天気を自由に変えることなどできません。すると、ある晩、不思議なマントを着た風変わりな女の子と赤い傘の夢を見て…。